

受付印	<input checked="" type="checkbox"/> 調停 家事 申立書 事件名(遺留分減殺請求) 審判
この申立書を提出する裁判所名 円 円	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。) <div style="border: 1px solid black; width: 80px; height: 60px; margin: 10px auto; text-align: center;">印紙</div> (貼った印紙に押印しないでください。)

この申立書を作成した日 平成 年 月 日	水戸 家庭裁判所 支部 御中	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印 <div style="text-align: right; font-size: 1.2em;"> 甲野一郎 印 </div>
-------------------------	--------------------------	--

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 申立人の戸籍謄本1通 相手方の戸籍謄本1通 被相続人の戸籍謄本1通 不動産登記簿謄本1通 遺言書の写し等
------	--

申立人	本籍 (国籍)	都道府県 市町
	住所	茨城県 市xxx丁目 番号ハイツ 号 (方)
	フリガナ 氏名	コウノイチロウ 甲野一郎 大正 昭和 平成 年 月 日生 (歳)
相手方	本籍 (国籍)	都道府県 市町 番地
	住所	茨城県 市xxx丁目 番号 (方)
	フリガナ 氏名	オツカワハナコ 乙川花子 大正 昭和 平成 年 月 日生 (歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。

申 立 て の 趣 旨
相手方は、申立人に対し、相手方が被相続人甲野太郎から遺贈を受けた別紙遺産目録記載の土地及び建物につき、その時価の2分の1に相当する物件を返還すると の調停を求めます。

申 立 て の 理 由
1 被相続人甲野太郎（本籍 県 市 町 丁目 番地）は、その配偶者英 子死亡後の平成 年ころから相手方と同棲し内縁関係にありましたが、平成 年 月 日に相手方の住所において死亡し、相続が開始しました。相続人は、被相 続人の長男である申立人だけです。
2 被相続人は、別紙遺産目録記載の土地、建物を相手方に遺贈する旨の平成 年 月 日付け自筆証書による遺言書（平成 年 月 日検認済み）を作成して おり、相手方は、この遺言に基づき、平成 年 月 日付け遺贈を原因とする所 有権移転登記手続をしています。
3 被相続人の遺産は、別紙の遺産目録記載の不動産だけであり、他に遺産及び負 債はありません。また、前記遺言の他に遺贈や生前贈与をした事実もありません。
4 申立人は、相手方に対し、前記遺贈が申立人の遺留分を侵害するものであるこ とから、遺産の2分の1に相当する物件の返還を求めましたが、相手方は話合い に応じようとしないので、申立ての趣旨のとおり調停を求めます。

遺 産 目 録

【現金，預・貯金，株式等】

番号	品 目	単 位	数 量 (金 額)	備 考
1	現金		424,534円	
2	銀行 支店 定期預金 (口座番号)		1,250,000円	
	ゆうちょ銀行 定額貯金 (記号 番号)		1,035,000円	

遺産(/)